**立ち寄りやすい島**

遥か昔、今日の五島列島に相当する地帯を形成する地殻の一部が変形し（地殻変動）、圧縮された泥岩と砂岩の層が下に押しやられました。地殻表面の一部は裂けたり侵食によって流失しましたが、裂けて地殻に沈み込んだ地層の、端の部分だけは残りました。立小島では、その地層の断片が、地面からほぼ垂直に突き出している姿を気軽に見ることができます。

**溶岩流が避けた場所**

立小島は、一見するとゴツゴツした小さな岩の塊に過ぎず、特に魅力を感じないかもしれません。しかしその塊の正体は、遥か昔、湾曲した地殻から裂けた地層の端の部分です。様々な岩の層が、ほぼ垂直に突き出た姿を見ることができます。

立小島の鋭いシルエットは、周囲の平地と強烈なコントラストを成しています。近くの台地を形成した溶岩流が、この地を通らなかったことは明らかです。鋭く突き出た数々の岩が、その事実を物語っています。

**安全な港への危険な道しるべ**

立小島の先にある灯台は、岩だらけの危険な海岸線に近付くな、と船に警告しているかのようです。しかし、実際のイメージはそれとは逆です。立小島は、白石湾をはじめとする湾の入り口の近くに位置しており、千年以上にわたって船を迎え入れてきました。古代には、中国に向かう日本船が停泊していました。初期の遣使の目的は貿易にとどまらず、技術や宗教などの調査も含まれていました。今日では、灯台は岩礁の存在について注意を促すだけでなく、安全な港に迎え入れる役割も果たしています。

**水を歩く**

立小島は福江島と狭い海峡で隔てられているように見えますが、実際には海峡の水深はかなり浅く、干潮時には立小島と福江島とを結ぶ岩の連なりが出現する姿を見ることができます。タイミングが良ければ、出現した岩を長靴で歩き、福江島から立小島まで渡ることができます。数百万年に及ぶ地質の歴史を、ご自分の目でお確かめください。